

コリント人への手紙第一 6 章 12 節から 7 章 9 節 性的な不道徳に関する真理

説教を始める前に、最初に親御さんに申し上げます。今日の内容は、お子さんにお聞かせするには支障があるかもしれません。この説教は、10代の方々や大人の方々にぜひ聞いていただく必要があります。ただ、オンラインでお子さんと一緒に礼拝に参加されている親御さんがいらっしゃるならば、この説教は後で視聴していただければ幸いです。パウロは、5章において教会の規律を考察することから始めました。今回の聖書箇所では、性的な不道徳について取り上げています。そして、6章最後の部分で結論を導き出しています。今日、クリスチャンや教会の多くは、性的な不道徳の問題についてかなり寛容です。なぜかと言えば、性に対する聖書の見方は、世間の見方や、世間で説かれていることとは、あまりにもかけ離れているからです。しかし、わたしたちが神の言葉に忠実であろうとするならば、社会的・文化的な規範の流れに真っ向から反するものであったとしても、神の言葉が語られることをしっかりと守っていかなければなりません。皆さん、わたしたちは愛を持って真理を守ります。わたしたちは真理を守りつつ、赦していくことができます。しかし、わたしたちは真理を守らなければならないのです。今日の聖書箇所では、性的な不道徳に関する真理を見ていきます。わたしたちは、その問題点、そして解決策の両方について見ていきます。最初にお祈りいたしましょう。

まず、12節から13節を読んでみましょう。12 「すべてのことが私には許されている」と言いますが、すべてが益になるわけではありません。「すべてのことが私には許されている」と言いますが、私はどんなことにも支配されはしません。13 「食物は腹のためにあり、腹は食物のためにある」と言いますが、神は、そのどちらも滅ぼされます。からだは淫らな行いのためではなく、主のためにあり、主はからだのためにおられるのです。コリントの教会の中には、性的に不道徳なことをしておきながら、そのことを正当化しようとする者がいたようでした。コリント人への手紙一を読み進めると、こういう者が出てきます。パウロは、彼らが主張していることを語っています。彼らは、「**すべてのことが私には許されているのだ!**」と言うのです。現在も、性的に不道徳なことをして、それを正当化するように主張する者がいます。そんな時、そういう者の言い分の方が、むしろ聖書的であるようにさえ聞こえます。まさに「わたしはキリストにあって、自分がやりたいことをやる自由がある。律法主義者やパリサイ人のようにわたしにあれこれと指図するな!」という言い分です。パウロは、「あなたができることがすべて、あなたの権利がすべて、あなたにとって良いことであるとは限らないし、有益であるとも限りません。その中には、あなたが注意しなければ、あなたを操ってしまうもの、**“あなたを支配してしまう”**ものがあるのです」と反論します。パウロは、人を操ったり支配したりすることができる2つのもの—食べ物と性行為—を結びつけています。食べ物の話については、後でコリント人への手紙第一で取り上げる、偶像に捧げる食べ物の問題に関連することだと思われれます。しかし、食べ物のごとし、性行為のごとし、これらの議論の背景には、肉体のごとしは重要ではないという考えがあるようでした。性的に不道徳なことをして正当化する者に対して、パウロはその主張を否定します。彼は、あなたたちは誤解しているのだ、といます。あなたの身体は主のためのものである。主はあなたの身体に宿る。パウロはそのように説明していきます。彼はこのように説いてから、性的な不道徳という問題について紹介します。

パウロが言っている性的な不道徳とはどのようなことを意味するのか、わたしたちは理解する必要があります。彼は、売春婦のところに行って性行為をしたい人たちのことを具体的に取り上げます。ただ、性的な不道徳という言葉は、そのことだけを意味するものではありません。また、不倫のごとしだけを意味するものでもありません。パウロは、不倫については、すでに前の箇所で言及しました。彼は「PORNEAN (ポルニーン)」という言葉を使って使っています。このポルニーンとは、結婚以外の性行為のすべてを含む、非常に一般的な言葉です。この言葉が英語のポルノグラフィの語源になったことは、みなさんにはすぐお分かりになるでしょう。もちろん、ここでパウロは異性間の性行為を取り上げています。しかし、コリント人への手紙第一 6 章 9 節で、すでに同性愛を罪として挙げていることを思い起こして下さい。パウロは9節の途中から「**思い違いをしてはいけません。淫らな行いをする者、偶像を拜む者、姦淫をする者、男娼となる者、男色をする者、**、、、、、、」と述べています。そして10節で「**…神の国を受け継ぐことはありません**」と終わっています。同性間の性行為は罪なのです。ですから、世間で認めようとしている同性間の恋愛関係は、決して聖なるものではありません。罪と見なされます。また、クリスチャンの兄弟姉妹の中には、独身の同性愛者やゲイ

でもクリスチャンになることができる、と主張する方々がいます。わたしはこうした方々に申し上げますが、コリント人への手紙第一 6 章では、こう主張しようとする事自体、もはや自分達をクリスチャンと名乗ることはできない、とハッキリと記しています。言い換えれば、クリスチャンならば、このようなことを言う事自体ありえません。クリスチャンが、同性に対して恋愛感情を抱きたくなるような誘惑を受けている場合、そうした誘惑とたたかうことができるのでしょうか？ハイ、このような誘惑とたたかうことはできるのです。しかし、自分が同性に対して恋愛感情を抱きたくなるような誘惑を受けた場合、だから自分はゲイやレズビアンなクリスチャンなのだ、と認めてしまうことも、賢いとは言えないようです。

わたしたちを取り巻くこの地上世界は、なんと、こうした議論をはるかに飛び超えてしまっています。ほとんどの国で、同性同士の性行為や、結婚していない状態での性行為は、テレビ番組の中で、ありふれたもの、それどころか、大したことでないかのように扱われ、戯れのひとつとして放映されていることに気づかされます。しかし、神にとって性行為とは重大なものであり、重要なものであり、聖なるものでさえあります。わたしたちが性行為を勝手に扱うことや、神の意に反した性行為は、神を冒瀆することになります。これは、パウロが 14 節に続けて読者に示そうとしていることです。14 神は主をよみがえらしましたが、その御力によって私たちも、よみがえらせてくださいます。15 あなたがたは知らないのですか。あなたがたのからだはキリストのからだの一部なのです。それなのに、キリストのからだの一部を取って、遊女のからだの一部とするのですか。そんなことがあってはなりません。16 それとも、あなたがたは知らないのですか。遊女と交わる者は、彼女と一つのからだになります。「ふたりは一体となる」と言われているからです。17 しかし、主と交わる者は、主と一つの霊になるのです。

神が性行為というものをどれほど真剣にとらえておられるか。16 節に注目してください。パウロは売春婦との性行為について語っています。神はこのような性行為を、性行為という賜物を最良に使う方法とは考えていない。これは明らかです。パウロは、娼婦と性行為をしたら、結婚と同じように娼婦と結ばれたことになる、と言っているのです。彼は創世記 2 章 24 節を引用します。²⁴ **それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは一体となるのである。**創世記 2 章 24 節は、神が結婚を契約として定めた聖句です。神の目から見たら、結婚は性的な親密、すなわち男と女が一心同体になることが非常に大切なカギです。神の目から見たら、神聖なる結婚の契約と、性行為による関係とを、別々のものとして分けて考えることはまったくできません。さて、結婚とは性行為でしかないのでしょうか？もちろん、違います。結婚とは性行為でしかない、と考えているご夫婦は、結婚生活に悩むことになるでしょう。しかしパウロは、性行為は結婚の一部にすぎない、と主張します。旧約聖書にも性行為の描写が見られます。神の目から見たら、異性と合意の上で性行為をした場合、結婚を約束することになります。さて、10 代や若い世代で不道德な性行為をしてしまった場合、当事者である 2 人に対して、わたしは決して、結婚すれば解決だと勧めません。彼らは悔い改め、性行為をやめ、将来的に結婚することが最善かどうかを判断していくことが必要です。神にとって、気軽に済ませてよい性行為など、ありえないのです。

今日では、売春婦との性行為や、若者同士または大人同士が同意で行う性行為よりも、ポルノの方がもっと大きな問題だと思えます。ポルノは独身者、既婚者、男性、女性にまで影響を及ぼします。2022 年のアメリカン・パースペクティブ・サーベイによれば、30 日間に一度でもポルノを観たことがある人は、全年齢層の男性で 44%、女性で 11% いる、とのこと。30 代および 40 代の男性になると 57% にも上ります。それほど多くはありませんが、女性もポルノを観ているのです。65 歳以下の女性で「ポルノを観たことがない」と答えた人は 44% に過ぎません。日本ではすべての年齢層を網羅した調査はありません。信州大学と兵庫大学の研究者が大学生を対象に行った調査では、男性の 97%、女性の 37% が前の月にポルノを観たことがあると分かりました。日本では結婚率、出生率、実際の性行為率は下がり続けています。ところが、真の恋愛に代わってポルノを利用することは拡大しているのです。この結果を聞いて、ポルノを観るのも仕方がないのだと正当化しないでください。性行為への欲望を抱くことは、実際に肉体関係を持つことと同じように性的に不道德なのです。マタイによる福音書 5 章 27 節から 28 節で、イエスは言われます。「²⁷『姦淫してはならない』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。²⁸ しかし、わたしはあなたがたに言います。情欲

を抱いて女を見る者はだれでも、心の中ですでに姦淫を犯したのです。」この聖句は男性にも女性にも等しく適用されます。このことをハッキリさせておきます。

15 節と 17 節に戻る前に、もう少し続けます。ここでパウロは議論を終えていません。ここが重要です。パウロは 18 節から性的な不道德の問題に対して、どうしたらよいのかを答えているからです。この誘惑と、どうたたかえばよいのでしょうか？18 節では、第一の方法として「逃げなさい」と教えます。¹⁸ 淫らな行いを避けなさい。私たちの周りは、性的な誘惑で溢れています。多くのコンビニエンスストアの通路に、そうした誘惑を醸し出す成人雑誌が目立つように設置されています。性的な誘惑は、職場の中で同僚の気を引こうとすることから生じます。それに、パソコンの前でキーボードをクリックして、スクリーンをタップすると、こうした性的な誘惑に引き込まれていきます。誘惑に踊らされている時には、すでに誘惑に片足を突っ込んでいます。わたしたちは、ヨセフの例を参考にしてみる必要があります。創世記 39 章 12 節には、こう記されています。「12 彼女はヨセフの上着をつかんで、「一緒に寝ましょう」と言った。しかしヨセフはその上着を彼女の手に残し、彼女から逃れて外へ出た。」ヨセフは、つかまれた自分の上着をそのまま脱ぎ残したまま、ただ去っていったのです。イエス様は、誘惑を取り除くために、根本的なことを語ります。マタイ 18 章 9 節には、こう記されています。「9 また、もしあなたの目があなたをつまづかせるなら、それをえぐり出して捨てなさい。片目でいのちに入るほうが、両目そろったままゲヘナの火に投げ込まれるよりよいのです。」性的な不道德を避けるためには、そこから遠ざかることだ、見るのを制限することだ。聖書の中には、こう主張している箇所が数多くあります。罪が始まる前に、罪を防ぐために必要なことは何でもしてください。

性的な誘惑とたたかうための第二の方法、それは、神があなたを見ておられるように、あなた自身を見ることです。18 節はこう続きます。¹⁸ 淫らな行いを避けなさい。人が犯す罪はすべて、からだの外のものです。しかし、淫らなことを行う者は、自分のからだに対して罪を犯すのです。¹⁹ あなたがたは知らないのですか。あなたがたのからだは、あなたがたのうちにおられる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたはもはや自分自身のものではありません。²⁰ あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから、自分のからだをもって神の栄光を現しなさい。この節は、15 節や 17 節と同じメッセージを取り上げます。「¹⁵ あなたがたは知らないのですか。あなたがたのからだはキリストのからだの一部なのです。」そして、17 節で「¹⁷ しかし、主と交わる者は、主と一つの霊になるのです。」。つまり、性的な罪は、他の罪とは違うのです。それは、自分の身体に対する罪なのです。神にとって、この身体は大切なものです。パウロはコリント人への手紙第一の結びで、身体は死んだら終わるのではなく、復活するのだ、と示しています。神は、イエス・キリストを知るわたしたち 1 人 1 人に、聖霊を宿らせました。私たちの身体がいかに重要であることを示しておられるのです。わたしたちは、それぞれが神ご自身の神殿、すなわち神の住まいなのです。わたしたちは、キリストの死によって罪から買い戻され、贖われました。そして、キリストの死によって、わたしたちは、身体に対する権利をキリストに買い取られました。もう 1 つ、さらに重要なことは、わたしたちに聖霊が宿ることによって、わたしたちは霊的にキリストとつながって、キリストのからだの一部となることなのです。みなさん、わたしたちは、自分の身体が神の神殿となったのに、性的に不道德なことをすることができるのでしょうか？ 性的に不道德なことをすること。それはまさに、神の住まいを誤って用いること、乱用すること、神が重要だと言っていることを重要でないものとして扱うこと、なのです。

性的不道德とたたかう 3 つ目の方法を見てみましょう。7 章に進みます。その方法とは、結婚をして、充実した性生活を楽しむ、ということです。ここで、わたしは、結婚すること、そして、充実した性生活を楽しむこと、この両方を 1 つに含ませて 3 つ目の方法としています。このことに注意してください。結婚と充実した性生活とは、必ずしも 1 つになっていません。結婚以外の性行為では本当に満たされることはありません。そうかと言って、結婚で必ずしも性生活の部分が満たされるわけでもありません。これから参照する聖句については、後でコリント人への手紙第一の 7 章を読み進めるときに再び参照します。今日は、7 章の最初から数節までを今日の議論と結び付けて考えてみたいと思います。そうすれば、今日の説教で語る結婚についての残りの話については、子どもたちが一緒に聞いても問題はありません。7 章の 1 節から読んでみましょう。1 さて、「男が女に触れないのは良

いことだ」と、あなたがたが書いてきたことについてですが、² 淫らな行いを避けるため、男はそれぞれ自分の妻を持ち、女もそれぞれ自分の夫を持ちなさい。³ 夫は自分の妻に対して義務を果たし、同じように妻も自分の夫に対して義務を果たしなさい。⁴ 妻は自分のからだについて権利を持ってはおらず、それは夫のものです。同じように、夫も自分のからだについて権利を持ってはおらず、それは妻のものです。⁵ 互いに相手を拒んではいけません。ただし、祈りに専心するために合意の上でしばらく離れていて、再び一緒になるというのならかまいません。これは、あなたがたの自制力の無さに乗じて、サタンがあなたがたを誘惑しないようにするためです。ここにいる若い皆さんは「あなたの性的指向を、隠したり抑えたりしなくてもよい、表現しましょう」という社会の風潮の中で生きています。皆さんが、ご自分の性的指向として、今日お読みした聖書個所に書かれていることを表明すること。これが皆さんにとって本当に満たされたものとなります。夫と妻の間が健全な形で性的に親密である。このことが実現するためには、夫と妻が互いの必要性を認識し、互いにそれに応えていくことです。性行為は、夫や妻が互いのためにしてくれた行為に対する報酬、あるいは、それとは反対に、罰として用いられる武器ではありません。それぞれが相手のためにあることを認識し、相手に与える贈り物なのです。性行為は一方的な行為ではありません。配偶者に性行為を強要するようなことを容認しているわけではありません。それとは対照的に、結婚生活において、聖書に基づいた充実した肉体関係は、相互における関係を土台としているのです。妻は自分の身体と欲求を夫にゆだねます。そして、夫もまた自分の身体と欲求を妻にゆだねます。世間的に見れば、自分の必要性（と思われるもの）が常に満たされているとは限りません。そこがポイントです。結婚における本当の愛とは、相手の要求に従うことなのです。つまり、わたしの欲求を満たすのではなく、妻の欲求を満たす...そして妻は夫の欲求を満たすということなのです。

性的な不道徳に対抗する最後の4つ目の方法、すなわち、独身であることを賜物としてとらえること、について簡単に説明します。独身の方々は少なくないことは承知していますが、独身でいることは簡単ではないですね。あなたは独身であることで苦しんでいる。あなたは結婚を切実に望んでいる。結婚せずに性行為をしたり、ポルノのような偽りの体験で性的な充足感を得ることは罪だと知っているはずである。ですから、パウロはこの箇所ですべて独身であることを取り上げています。**6節を見てください。**⁶ 以上は譲歩として言っているのであって、命令ではありません。⁷ 私が願うのは、すべての人が私のように独身であることです。しかし、一人ひとり神から与えられた自分の賜物があるので、人それぞれの生き方があります。⁸ 結婚していない人とやもめに言います。私のようにしていただけるなら、それが良いのです。⁹ しかし、自制することができないなら、結婚しなさい。欲情に燃えるより、結婚するほうがよいからです。パウロは、独身であることを賜物として捉えていました。パウロは結婚に反対している、と非難する人もいますが、それは正しくありません。しかし、もしあなたが結婚相手を探すことばかりに心を向けることをやめて、神を求め、神の中に充足感を得ることに心を向けることができれば、不道徳への誘惑は小さくなるはずですよ。なぜなら、あなたは自分の幸せや満足、人間の配偶者の中にはなく、イエス・キリストご自身の中に見いだすことになるからです。今日の説教は9節で終わりにします。パウロはこの手紙において、教会の罪を扱っていることを思い起こしてみましょう。罪の中には、近親相姦を犯した男のように、世間に対して公然たるダメージを与え、身体自体へのダメージも与えることから、罪人から分離して対処しなければならないものもあります。しかし、ほとんどの罪は、教会の他の人々から隠されたままである可能性があります。わたしたちは、少しの罪なら害はないだろうと考えることもできる。パソコン画面の前で数分間、配偶者ではない異性との一線を越えた快楽を味わうこと。この罪、この数分間の快楽は、わたしたちの人生だけでなく、家族の人生、人間的、精神的なものをも破壊してしまいます。だから、こうした誘惑に対してたたかきましょう！ 性的な不道徳から逃げることによって...神が見ているように自分を見ることによって...神のような結婚を求め、結婚生活の中で無私の性的充足を求めることによって...そして結婚を待つ間、その独身期間を神との関係に集中するための神の贈り物と見なすことによって...。最後に、これらの闘いはすべて、**キリストのからだの一部であること**によってのみ、可能なのです。わたしたちを取り巻く世界は、性的な不道徳に対して、聖書の見方とは全く異なる寛容なメッセージを発しています。もし、わたしたちがキリストに対して完全に人生を捧げて生きていないなら、性的な不道徳の誘惑とたたかうことは不可能ではないにしても、難しいでしょう。ですから、わたしたちは、キリストにつながる者として、また聖霊なる神の住まい、神殿として、神のご計画に従う人生を送ろうではありませんか。祈りましょう。

1 Corinthians 6:12- 7:9 The Truth about Immorality

Let me begin by saying for parents that you probably do not want your children to listen this sermon. Teenagers and adults definitely need to hear it, but if you are watching online and have children around, I would encourage you to perhaps watch later. This final part of chapter 6 really draws Paul's thoughts to a conclusion that began with church discipline in chapter 5 as he now addresses sexual immorality. This is an issue that many Christians and churches today have compromised badly on, because the Biblical view on sex is so different than the views the world holds and really preaches. But if we are to be true to God's Word, then we must hold fast to whatever it says, even when it puts us directly against the flow of social and cultural norms. Now, we can hold to truth with love, we can hold to truth and still offer forgiveness, but we must hold to truth. And in today's passage we see **the truth about immorality**. We will see both the problem and the solution. Before we do that, let's pray.

Let's begin by reading verses 12-13. ¹²“I have the right to do anything,” you say—but not everything is beneficial. “I have the right to do anything”—but I will not be mastered by anything. ¹³You say, “Food for the stomach and the stomach for food, and God will destroy them both.” The body, however, is not meant for sexual immorality but for the Lord, and the Lord for the body. Some in the church seemed to have tried to justify sin, starting with sexual immorality, but as we continue through 1 Corinthians, we will see others. Paul tells us the arguments they are making. They say, “I have the right to do anything I want!” That same argument is made today, and even sounds Biblical. “I have my freedom in Christ to do whatever I want. Don't be a legalist or a pharisee and tell me what to do!” Paul counters by saying, not everything you can do and have the right to do is good for you or beneficial, and some of those things will gain control over you or “master you” if you are not careful. He then ties together two separate ideas that both can master or control people – food and sex. The food reference is likely related to a problem he addresses later in 1 Corinthians of food offered to idols. Whether food or sex, though, it seemed that these arguments revolved around the belief that the physical body was unimportant. Paul right away says, no, sorry, if that's your view, you misunderstand. Your body is meant for the Lord and the Lord indwells the body as he will go on to explain. He also uses that to then introduce **the problem - sexual immorality**.

We need to understand what Paul means when he says, sexual immorality. He is going to address specifically those who want to go to prostitutes, but this word is not specific to just that activity. He also is not being specific to adultery. He has already mentioned that separately in previous verses. The word he uses here is PORNEAN. It is a very general term encompassing all forms of sexual activity outside of marriage. It's probably quickly obvious that it's where we get our English word pornography from. Now here, of course, Paul is dealing with heterosexual sexual activity when he uses this word, but remember he's already listed homosexuality as a sin in [1 Corinthians 6:9](#). Starting in the middle of verse 9, he says “do not be deceived: neither the sexually immoral nor idolaters nor adulterers nor men who practice homosexuality... then ends the thought at verse 10 with... will inherit the Kingdom of God. There is no non-sinful version of same gender sexual activity. So, even what the world would consider a loving relationship between two people of the same gender can never be seen as holy or without sin. I would also gently say to some Christian brothers and sisters who insist that they can be celibate homosexual or gay Christians that 1 Corinthians 6 is clear that we can't continue identify ourselves by that temptation. In other words, it does not seem from this that a Christian should identify themselves in this way. Can a Christian struggle with the temptation of same sex attraction? Yes, but it does not seem wise to identify yourself as a gay or lesbian Christian.

Of course, the world around us is way past that discussion. If you watch any television shows from almost any country, it does not take much watching to realize that to most people in the world, homosexual sex and sex without being married is not only normal, but something to treat lightly and even joke about. But to God, it is significant, important, and even holy, and our treatment of it and misuse of it is an offense to him. This is what Paul intends to show his readers as he continues in verse 14. **14 By his power God raised the Lord from the dead, and he will raise us also. 15 Do you not know that your bodies are members of Christ himself? Shall I then take the members of Christ and unite them with a prostitute? Never! 16 Do you not know that he who unites himself with a prostitute is one with her in body? For it is said, "The two will become one flesh." 17 But whoever is united with the Lord is one with him in spirit.**

Notice in verse 16 how seriously God views sex. Paul is speaking about sex with a prostitute, which is obviously not what God has in mind for the best use of this gift. And yet he says when you have sex with a prostitute you've united with her in the same way that marriage is spoken about. He quotes **Genesis 2:24 24 Therefore a man shall leave his father and his mother and hold fast to his wife, and they shall become one flesh.** That is where God established the covenant of marriage, and the key aspect of marriage that sets it apart in God's eyes is sexual intimacy- becoming one flesh. To God the holiness of the marriage covenant and the sexual relationship in that marriage are inseparable. Now is a marriage just sex – of course not. Couples that think that way will find themselves with a troubled marriage. But Paul will make the argument that it should be part of the marriage. There is a strong argument to be made here and from the way that sex is treated in the Old Testament, that in God's eyes, when you have consensual sex with someone of the opposite gender you are actually committing to marriage. Now, of course, I would never want to encourage two teenagers or young adults who are guilty of sexual immorality to get married as the solution. They need to repent, stop having sex and decide whether marriage is a good step in the future. But, the point is that there is no such thing as casual sex to God.

Likely an even larger problem today than sex with prostitutes or even between just two consenting young people or adults is pornography. It affects singles, married, men and women. Based on a 2022 American Perspectives Survey, 44% of men and 11% of women in America of all ages admit to watching pornography at least once in a 30 day period. For men in their 30's and 40's it's far worse- 57%. And while the numbers may be smaller women are watching as well. Among women under 65, only 44% say they have never watched pornography. For Japan, there are not available studies that cover all age ranges, but researchers at Shinshu University and Hyogo University did a study of college students and found that 97% of men and 37% of women had used pornography in the previous month. Marriage, birth rates and even actual sexual activity rates continue to drop in Japan, but pornography use is growing as an alternative to true relationships. And please don't try to justify it. Lust is the same type of sexual immorality as having an actual physical relationship. In **Matthew 5:27-28, Jesus says, 27 "You have heard that it was said, 'You shall not commit adultery.' 28 But I say to you that everyone who looks at a woman with lustful intent has already committed adultery with her in his heart.** And let me just say it if it is not clear, all these verses apply equally to men and women.

We will come back to verses 15 and 17 in a minute, but for now let's continue through this passage. It is so important that Paul doesn't end there. Because starting in verse 18, Paul gives us the answer to the problem of sexual immorality. How do we fight this temptation? **Verse 18 tells us the First way – Run away! 18 Flee from sexual immorality.** Sexual temptation is all around us. It is prominently placed in aisles at many convenience stores. It

is in the flirtatious relationship with co-workers. And it is found in the click of a keyboard or a tap on the screen. When we dance around the temptation, it becomes easy to succumb to it. We need to use the example of Joseph. [Genesis 39:12](#) says “she [Potiphar’s wife] caught him by his garment, saying, “Lie with me.” But he left his garment in her hand and fled and got out of the house. He didn’t even wait to try to get his clothing back; he just left. Then there is Jesus who talks about using radical means to remove the temptation. [Matthew 18:9](#) says, And if your eye causes you to sin, tear it out and throw it away. It is better for you to enter life with one eye than with two eyes to be thrown into the hell of fire. There are many other passages that could make the case that the first way to avoid sexual immorality is to get away from it, restrict yourself from seeing it. Do whatever it takes to prevent the sin before it starts.

But there is a second way we need to fight temptation. You need to see yourself as God sees you! Verse 18 continues, **All other sins a person commits are outside the body, but whoever sins sexually, sins against their own body. 19 Do you not know that your bodies are temples of the Holy Spirit, who is in you, whom you have received from God? You are not your own; 20 you were bought at a price. Therefore honor God with your bodies.** These verses pick up on the same message of verses 15 and 17. **15. Do you not know that your bodies are members of Christ himself?** And 17, **17. But whoever is united with the Lord is one with him in spirit...** Sexual sin is not the same as other sin. It is a sin against your own body. The body is important to God, and Paul will close 1Corinthians showing that death is not the end of our body because it will be resurrected. God shows how important our bodies are by having God the Holy Spirit indwell each of us who know Jesus Christ. We are each a temple, or dwelling place of God himself. We were bought back or redeemed from our sin by Christ’s death, and through his death, he purchased the right to tell us what to do with our bodies. Additionally, and even more important, through the indwelling presence of the Holy Spirit, we are spiritually connected to Christ and made one with him – as the verse says, **members of Christ himself.** How can we take Christ and commit sexual immorality with this temple of God, our bodies? To commit sexual immorality is to misuse and abuse the very dwelling place of God and treat as unimportant what God says is important.

We are going to go ahead into chapter 7 today and **see a 3rd way fight sexual immorality. Marry and enjoy fulfilling sex.** Notice I put those two together - marry and enjoy fulfilling sex. Those two are not necessarily always together. You will never truly find fulfillment in sex apart from marriage, but you will not necessarily find it in marriage either. I will reference these verses again later as we continue through 1Corinthians 7, but I want to go ahead and tie these first few verses with our discussion today because they go together. And so I can keep the rest of the discussion on marriage more G rated for the children to be in the worship service. Let’s read starting at verse 1. **7 Now for the matters you wrote about: “It is good for a man not to have sexual relations with a woman.”² But since sexual immorality is occurring, each man should have sexual relations with his own wife, and each woman with her own husband.³ The husband should fulfill his marital duty to his wife, and likewise the wife to her husband.⁴ The wife does not have authority over her own body but yields it to her husband. In the same way, the husband does not have authority over his own body but yields it to his wife.⁵ Do not deprive each other except perhaps by mutual consent and for a time, so that you may devote yourselves to prayer. Then come together again so that Satan will not tempt you because of your lack of self-control.** For those of you who are young in here, and society is telling you that you should not suppress your sexuality, but express it. The only true expression of that sexuality where it will be truly fulfilling is what is described in these verses. A healthy sexual intimacy between a husband and wife. For those who are married, the only way this happens is when each is recognizing and responding to

the other spouse's needs. Sex is not a weapon to be yielded against our husband or wife as a reward or punishment for their actions, but as a gift that each gives to the other, recognizing that it is meant for them. This is not one sided...it is not condoning anything close to forcing your spouse into having sex. On the contrary, everything about a fulfilling physical relationship in marriage based on the Bible is about mutuality. The wife yields her body and needs and desires to the husband, and the husband also yields his body and needs and desires to the wife. If you look at this from a worldly perspective, it means that I may not always get my needs (or what I think my needs are) met all the time, but that's the point. Real love which should be present in marriage, should be submitting to the others needs. So it is not about satisfying my needs, but satisfying my wife's needs...and the wife satisfying the husband's needs.

Finally, I want to quickly cover the 4th way to fight sexual immorality, which is to view singleness as a gift. This is difficult. I know there are many of you who are single. You struggle in this area. You want desperately to be married. You know it's a sin to have sex outside of marriage or to find that sexual fulfillment in false experiences like pornography. So, Paul addresses singleness in this passage as well. Look at verse 6. **⁶ I say this as a concession, not as a command. ⁷ I wish that all of you were as I am. But each of you has your own gift from God; one has this gift, another has that. ⁸ Now to the unmarried and the widows I say: It is good for them to stay unmarried, as I do. ⁹ But if they cannot control themselves, they should marry, for it is better to marry than to burn with passion.** Paul looked at his singleness as a gift. Some have even accused Paul of being anti-marriage, which isn't correct. But if you can turn the focus from finding a mate to seeking God, and finding fulfillment in him, then the temptation to immorality will be small. Because you will be finding your happiness, your contentment, not in a human spouse, but in Jesus Christ himself.

We will end here today at verse 9. Remember though, Paul here has been dealing with sin in the church. Some sin is so public and damaging to the body as a whole that it must be dealt with by separating from the sinner, like the man committing incest. But most sin can remain hidden from the rest of the church. We can think that a little of it won't harm us. A few minutes in front of a screen, A close relationship that may be too close with someone of the opposite sex who's not our spouse. That sin, those few minutes of pleasure can destroy not only our lives but the life of our family, human and spiritual. So let's fight! By running away from sexual immorality...by seeing ourselves as God sees us...by seeking a Godly marriage, and within our marriages seeking selfless sexual fulfillment, ...and while waiting on marriage, viewing that time of singleness as God's gift to us to focus on our relationship with him. Finally, all this is only possible by being **members of Christ himself**. The world all around us is sending a very different message, and if we are not living fully committed to who we are in Christ, it will be difficult if not impossible to fight the temptation to sexual immorality. So let's live the life we were intended to live – as members of Christ and dwelling places, temples, of God the Holy Spirit. Let's pray.